

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標		
<p><b>「未来へかがやけ 蛭っ子！」</b></p> <p>～笑顔いっぱい、生き生きと学び合う児童の育成～</p>	<p><b>○学び続ける子ども</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意欲的に自主的に学習に取り組む。</li> <li>じっくりと考え、相手に伝わるように表現する。</li> <li>進んで読書をする。</li> </ul>	<p><b>○思いやりのある子ども</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当たり前前が当たり前前に行ける。</li> <li>自他のよさを認め合いながら助け合う。</li> <li>地域に学び、地域を愛する。</li> </ul>	<p><b>○たくましい子ども</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>進んで心と体を鍛える。</li> <li>規則正しい、健康的な生活を送る。</li> <li>食事のマナーを身につけ、残さず食べる。</li> <li>危機を回避する。</li> </ul>

3 目標・評価

① 学び続ける子ども(知)「学力向上」

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○学習習慣の定着	基本的な学習習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常の指導及び「学び続ける子 10か条」を意識づけることにより、学習に集中して取り組み、話をしている相手を見て最後まで聞くことができる児童90%を目指す。また、進んで発表しようとする児童80%を目指す。</li> <li>「家庭学習にきちんと取り組んでいる」と答える保護者90%を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>話を聞く習慣づけの徹底指導、および、発達段階に応じた発表指導を工夫する。</li> <li>「読む」「書く」「計算」の宿題を継続的に取り組む。</li> <li>「家庭学習の手引」「市営の習慣づくり」等の保護者への配布・説明を行い学校・家庭が連携して取り組む。家庭学習に自学ノートの活用を促すために、良いノートを紹介したり、保護者にも啓発したりする。</li> <li>定期的に「蛭っ子カード」(生活点検表)を実施し、親子で学習・生活習慣を見つめ直しながら、望ましい学習・生活習慣の定着を図る。</li> </ul>
	●学力の向上	算数科における思考力及び表現力を育てる指導方法の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数科において、児童の思考力・表現力を高めるための授業づくりを通して、活用力を育てる。</li> <li>算数科の学習状況調査・標準学力検査において、各学年県および全国平均以上を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>思考力・表現力を高めるために、授業の中に主体的・協働的に学び合う活動を取り入れる。</li> <li>児童の興味・関心・意欲や思考を引き出すための教材の研究・開発を行う。</li> <li>児童の実態に応じた少人数指導・TT指導を充実させる。</li> <li>計算タイムや補充学習において級外職員も加わり、全職員で指導に臨む。</li> </ul>
	○読書指導	読書指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間100冊の読書を達成する児童100%を目指す。</li> <li>いろいろなジャンルの本に興味関心を持つ児童を増やす。</li> <li>毎月「ノートレブ・ノゲームデー」を実施し、読書の実施率を60%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>100冊達成した児童を昼の放送で紹介する。</li> <li>教師や保護者ボランティアによる読み聞かせを実施するとともに、図書館祭りの機会を利用して、読書の幅を広げる。また、「嬉野市校長先生の知恵袋事業」を活用して、ハッピーバスステープブックを実施する。</li> <li>「親子読書回覧板」を実施し、家庭でも読書をするきっかけを与える。</li> <li>ノートレブ・ノゲームデーについては、保護者にも協力を呼びかけ、家読を勧める。</li> </ul>
	●ICT活用教育の推進	ICT活用教育指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータや電子黒板、インターネット等を活用して、授業に主体的に取り組む児童を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教職員がICTを活用した実践的な教育活動を行うことができるように職員研修の充実を図る。</li> <li>情報化推進リーダーを中心とした校内研修体制を整える。</li> </ul>

② 思いやりのある子ども(徳)

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○基本的生活習慣の定着	奉仕・協力・勤労などの精神や態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>「礼儀正しい児童を目指す。(あいさつ・返事・言葉遣い・無言掃除・靴並べ・廊下歩行)」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「あいさつ運動」を実施することで、あいさつや返事を上手にできる子をほめ、常に意識させる。</li> <li>掃除の手順や用具の使い方を指導し徹底させる。</li> <li>掃除強化月間を設け、全校で重点的に取り組む。</li> </ul>
	●心の教育	思いやりの心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>「道徳教育の充実」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や友だちを大切に、思いやりの心を育てる学級活動や道徳の授業を大切にすること。</li> <li>人権集会や平和集会を行うことで、人権・同和教育や平和教育の推進を図る。</li> <li>コミュニティとの連携を図り、体験活動を充実させる。</li> </ul>
	●いじめの問題への対応	多くの目や手をかける学校及び学級経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人のよさを認め合い、いじめのないクラスづくりを目指す。</li> <li>学級が孤立しないよう、同歩調の指導を行い、「学校が楽しい」と言える児童95%を目指す。</li> <li>「予防、早期発見、早期対応、再発防止」を念頭に置き、事案が発生した場合には、組織として迅速かつ丁寧に対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や友だちを大切に、思いやりの心を育む学級活動や道徳の授業を大切にすること。</li> <li>いじめアンケートを定期的に実施するとともに、教育相談週間を設定する。</li> <li>QUTを年2回実施し、結果を活用し学級経営力を高める。夏季休業中に職員研修を行う。</li> <li>職員間において「報告・連絡・相談」を徹底させるとともに、校内いじめ防止対策委員会を開催して、迅速に対応する。また、週に1回行っている「支援を必要とする子の情報交換」を充実させ、職員間の共通理解を図る。</li> </ul>
	○特別支援教育	支援体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育に関する専門性を高めるために年に3回の校内研修を行う。</li> <li>支援を必要としている子を把握し、個に応じた支援を行う。</li> <li>特別支援教育に関する共通理解を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携し、専門の講師を招聘して職員研修を行う。</li> <li>児童一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高めるための適切な指導及び必要な支援を行う。</li> <li>個別の支援計画を作成し、個に応じた指導を行う。</li> <li>年度当初の必要に応じてケース会議を行い、共通理解を図る。</li> </ul>
	●特別活動の充実	自主的・自発的な態度の伸長	<ul style="list-style-type: none"> <li>集会活動や縦割り班活動を通して、思いやりのある心、自己有用感を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学年や全校の場で出番をつくり、達成感を持たせる。</li> <li>縦割り班活動の推進によって、高学年のリーダー性と思いやりの心を育む。</li> <li>集会活動や学習発表会を通して、友だちのよさを認める。</li> </ul>
	●小学校低学年の学習環境改善の充実	基本的生活習慣、学習習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>「あいさつや返事が元気にできる児童90%を目指す。</li> <li>毎日宿題をきちんとできる児童90%を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつや返事を上手にできる子をほめ、常に意識させる。</li> <li>決まった量の宿題を出し、宿題はそののうちに点検し返すようにする。</li> <li>保護者と連携し、協力を得て達成する。</li> </ul>

③ たくましい子ども(体)

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体づくりの推進	心身ともに健康な児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育科の授業の充実を図り、運動が好きなお子も育てる。(県教委の体力向上推進事業「さがんキッズスポーツチャレンジ」への参加)</li> <li>縦割り班での遊びの時間を使って、いろいろな遊びを経験させ、外遊びを奨励する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育の授業作りについて意見交換をしたり、学習カードの共有ができていたようにする。</li> <li>体育委員会のスポーツツレジャーエーションの時間を使って、「さがんキッズスポーツチャレンジ」の全種目に全学年がチャレンジするようにする。</li> <li>掲示板や児童集会を使っていろいろな遊びを紹介し、遊びの楽しさを味わわせる。</li> </ul>
	○安全対策	危機管理及び安全対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の身は自分で守るという意識を持つ児童を育てる。</li> <li>登下校のみならず、外出時の防犯ブザーの所持率を100%にする。</li> <li>交通ルールを守り、自転車の正しい乗り方ができるようにする。</li> <li>「生きる力」の教科書等を活用し、生きる力を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連機関と連携し、不審者対応避難訓練や交通安全教室を実施する。</li> <li>学級活動、全校朝会等の機会を活用し、自転車の乗り方や身の安全を守る方法を指導する。</li> <li>登校時のPTAや交通指導員の立ち番、下校時の見守り隊との協力体制を維持・継続する。</li> </ul>
	○望ましい生活習慣の形成	健康的な生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して、立腹・手洗いうがい・歯みがきを実践し、自分で健康管理ができる。</li> <li>ハンカチ・ちりめん・つめ・かみの手・朝ごはん等、習慣化できている児童を90%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗いうがい・歯みがきを習慣化し、感染症予防に努める。また、学校歯科医・市健康づくり課と連携し、歯科保健指導をすすめる。</li> <li>衛生検査を週1回実施し、結果を活用することで、習慣化を図る。</li> </ul>
	○望ましい食習慣と食の自己管理能力の形成	食事のマナーを守り、好き嫌いなく食べる児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>食に関する知識と関心を持たせ、好き嫌いなく食べる児童を90%以上にする。</li> <li>食器の持ち方や箸の持ち方、姿勢に気をつけるなど、マナー面での指導を徹底させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校栄養士による食育の授業や給食だより、給食委員会の発表などを通して、食の大切さを知らせる。</li> <li>6・11月に給食マナー週間を設け、日替わりでテーマを決めて正しいマナーを身に付けさせる。</li> <li>栽培活動を通して、育てる楽しさを知り、食べる関心を高める。</li> </ul>

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○魅力ある学校づくり	地域・保護者と連携した児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域人材を活用した体験的な学習活動を行い、豊かな心を育成する。</li> <li>地域関係団体、保護者等と連携して、基本的生活習慣の徹底を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に地域人材を生かした学習活動を教育課程に位置づけて実施する。</li> <li>地域関係団体、県の機関との協議の場を設け、学校の教育活動について理解を求め、支援を要請する。</li> <li>地域・保護者との連携で、あいさつ等の基本的生活習慣の徹底を図る。</li> </ul>